

てくてく



福井大学教育学部附属特別支援学校 教育相談部
 ★2019. 1. 11(金)発行
 福井県福井市ハツ島町 1-3 TEL0776-22-6781(FAX22-6776)
<http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~f-tokusi/>

「交流及び共同学習情報紙」と名称を変えて第2号の「てくてく」です。今年度もさまざまな交流を行い、いろいろな人たちとの関わりの中で学びを深めることができました。各学部とレインボータイム（全校縦割り班活動）から、その取組についてご紹介します。

小学部

《学校間交流》

今年度も、本校に隣接する藤島中学校の校区にある3つの小学校(明新・日新・西藤島)の4年生との交流及び共同学習を行いました。1回目の交流は、ジャンジャンタイムや寿司バスケット、はびねすダンスなど、本校の子どもたちがこれまでに経験したことのある活動を中心に行いました。最初は緊張した表情だった子どもたちも、活動を進めるうちに自信を持って参加したり、楽しんだりできるようになりました。

《今年度の学校間交流の実施日程》

	日新小学校	西藤島小学校	明新小学校
第1回	10月31日(水)	10月4日(木)	8月29日(水)
第2回	12月7日(金)	12月11日(火)	今年度は第1回のみ

2回目は相手校を訪問し、相手校の児童が考えたゲームやダンス、学校探検などをしました。相手校の子どもたちは、1回目の交流で一緒に活動したことを振り返り、本校の子どもたちが楽しめる活動を考えたり、本校の子どもたちのペースに合わせて優しく関わったりしてくれました。

それぞれの交流の前には、本校の教員が相手校に出向いて学校の概要や学部の活動などを説明する授業を行いました。また、交流後には、これまでの交流の振り返りやまとめをする事後学習も行いました。これらの



交流や事前・事後学習を積み重ねることで、同世代の子どもたちが一緒に活動を楽しみ、お互いに相手を意識して関わるにつなげていきたいと思います。

《居住地校交流》

今年度の小学部は11名の児童が居住地校交流を行い、2名の児童がこれから実施する予定です。個々のニーズに応じて、通常の学級または特別支援学級と交流したり、全校縦割り班活動に参加したりしました。それぞれの子どもたちは、普段と違う環境の中で緊張しながらも学習や生活の経験を広げ、いろいろな友達と一緒に活動し、関わり合いました。

★Aさんの居住地校交流の様子★

今年度2回目の居住地校交流、久しぶりの再会にお互いが笑顔になりました。ミニ運動会は、綱引き、ボール運びリレー、ボウリングと、附属の活動でもおなじみのものでした。Aさんは学校から持っていった道具を率先して準備し、ボール運びではいつもの調子で布を大きく揺らして、みんなを笑顔にさせていました。ペットボトルを使ったボウリングのルールにすぐに慣れて、ペットボトルに向かって勢いよくボールを蹴り、見事に得点をゲットしてチームに貢献しました。



中 学 部

《福井大学との英語交流》

10月29日(月)、福井大学の留学生、大学院生、先生方など合計9名が来校し、本校中学部の生徒と今年度2回目の英語交流を行いました。

最初は、外国人の先生や大学院生の自己紹介を聞きました。それぞれの出身国について、スライドを使って紹介してもらい、首都の名前やその国ならではのお祭りの様子などを、クイズを交えながら楽しく学びました。その後はグループに分かれて本校の生徒が自己紹介。「I'm OO.」「I like strawberry.」などと、くらしの時間を中心に練習した英語での自己紹介を、ドキドキした様子で行っていました。また、ハロウィンの季節にちなんだカード交換ゲームやダンスを行い、楽しい時間を過ごしました。

緊張が緩んだところで、次はゆうゆうタイム。普段、中学部が行っている「衣食」「工芸」「環境」の3つのグループに、外国人の先生方にも入ってもらい、それぞれの活動と一緒に行いました。衣食グループは「白玉だんご作り」。みんなで団子をこねて、きなこ・みたらし・あずきの3つの味で日本の味を食べ比べました。工芸グループは「エコたわし作り」。好きな色のひもを選んで編み込む作業で、数や色など知っている単語を交えながら一生懸命に伝えていました。環境グループは「ホットケーキ作り」。学校祭の模擬店に向けた練習で、「ホットケーキは英語で何て言うのかな?」「生クリームは?」などと会話をしながら活動しました。

ゆうゆうタイムの後は、給食を食べながら各クラスで交流を楽しみました。伝わらない言葉があっても、先生に聞いたり、活動を通して心を通わせたりしながら、人と関わることを楽しんでいく生徒たちの姿がとても印象的でした。今年度はあと1回、英語交流を行う予定です。

《居住地校交流》

今年度は、4名の生徒が居住地校交流を行っています。

S中学校に行ったAさんとBさんは、S中学校の理科室で科学実験を行いました。3種類の気体を集めて性質を調べる実験で、ある気体にマッチの火を近づけると…「ボン!」。飛び上がるほど驚いていた2人でしたが、とても楽しく印象的な時間になったようです。F中学校に行ったCさんは、音楽の時間に参加しました。最初はとても緊張していましたが、一緒にたくさんの歌を歌うことで、表情も和らいでいきました。M中学校に行ったDさんは、久しぶりの友達との再会でお互いに大喜び。アイロンビーズの作品を作りながら談笑したり、実験や制作をしたりしながら、楽しいひとときを過ごしました。



自己紹介クイズ



衣食グループ「白玉だんご作り」



環境グループ「ホットケーキ作り」



高等部



《くまっこクラブとの交流：生活3班》

オープンクラス生活3班では、「季節を感じよう」「社会に出て活動し人と関わろう」「活動を楽しもう」をテーマとして、年間22回の活動を計画しています。その中のくまっこクラブふくい（福祉サービス事業所）との交流活動は、昨年度から行っています。今年度は、外部講師による「カラフィットダンス」を4回、「焼き芋大会」を1回の計5回行いました。生活3班という安心していただける場が土台となり、みんなと一緒にダンスの輪に入ったり、くまっこクラブの仲間と一緒に焼き芋をおいしそうに食べたりする姿が見られました。



高ホームはこっちですよ



動き 激しすぎ～



お抹茶をどうぞ

《福井県立福井南特別支援学校窯業班との交流：焼き物班》

7月10日に福井南特別支援学校の窯業班14名が来校し、本校の焼き物班と交流を行いました。交流は今年で4年目になります。電動ろくろと機械ろくろのグループに分かれ、附属の生徒が福井南特支校の生徒に道具の使い方や作り方の手順を丁寧に説明したり手本を示したりしながら、製作に取り組みました。12月には附属の生徒が福井南特支校を訪問し、窯業班の仕事を学びました。



《地域での野菜販売》

今年度から、畑・織り班で育てた野菜を地域の日新公民館で販売しています。学校から15分ほどかけて、大きな段ボールいっぱいの野菜を持って公民館に向かいました。到着すると、公民館の職員さんが汗だくの人々を見て「よく来たね。」と笑顔で出迎えてくださり、それだけで疲れは吹き飛ばすほどでした。

公民館での講座を終えた皆さんに、生徒たちが「附属特別支援学校です！」「野菜いかがですか？」と声を掛けると、足を止めて野菜を手にとってくださいました。「葉物はないんか？」「今度は〇〇がいいな」などのコメントをいただくと、「今度はほうれん草とか作りましょう」と、生徒から提案が出てくるなど、販売を通してたくさんの方のことを学びました。



《学校祭校内虹の市 感謝フェア》

12月1日の学校祭当日に、産業等現場実習でお世話になった職員の方や相談支援員の方、放課後サービス事業所の職員の方を招いて、「感謝フェア」を開催しました。学校祭の多くのお客様に仕事班の作品や作物を販売したり、喫茶「レインボーカフェ」ではコーヒーやジュース、生徒が点てたお抹茶でおもてなしをしたりしました。事業所の方は、休日にもかかわらず来てくださり、生徒たちに声を掛けたり商品を手に取ったりしてくださいました。



紙と刷り・焼き物・織り・畑班による野菜や作品の販売



お抹茶でおもてなし

レインボータイム

《明新小学校との交流：スポーツ・ゲーム班》

8月31日に、明新小学校の特別支援学級から7名の児童が来校し、本校のスポーツ・ゲーム班と交流を行いました。はじめに一人ずつ自己紹介をしてから、みんなで一緒ににはびねすダンス、しっぽとり、フリスビー스트ライク、箱積みリレー、「逃げ場所はどこだ？」ゲームをしました。フリスビーストライクや箱積みリレーは運動会でも経験のある種目だったので、本校の児童生徒はすぐにルールを理解し、明新小の友達とペアになって自然に楽しむことができました。「逃げ場所はどこだ？」ゲームは、明新小の子どもたちがこの交流のために準備してくれたゲームで、ルールの説明や進行もしてくれました。最初は初めてのゲームに少し戸惑っていた本校の子どもたちも、ゲームをするうちにルールを理解し、リーダーから言われた色の物を自分から探すことができました。短い時間でしたが、一緒にダンスをしたりチーム対抗でゲームをしたりすることで、互いに楽しみながら交流をすることができました。



《たわら屋との交流：クラフト班》

クラフト班では、これまで本校と関わりのあるたわら屋（地域の人たちが集まるサロン）の方たちと初めての交流をしました。一緒に折り紙や花紙で花や虫を作り、一枚の大きな作品を作りました。たわら屋の皆さんがとてもこやかに話しかけてくださり、みんなも折り方を伝えるなど、温かい交流が見られました。続いて、クラフト班の活動で作ったかるたを紹介し、みんなでかるた取りをしました。読み札が読まれると、たわら屋の皆さんもやる気満々で札を取り、盛り上がりました。最後に、オカリナの演奏を聞いて童謡を歌い、和やかな雰囲気でごすごことができました。

